常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社
営業部専用 1、210
編集部専用 1、269

若き世代に贈る
御婚礼家具調度品
三重タンス各種
洋服ダンス
ベビーダンス
姫鏡台 針箱
伊東家具店
平市新川町 電四六四

第三回石城一周駅伝競走
産業文化祭の中日（23日）に変更

ウインタースポーツの華第三回石城一周駅伝競走はさきに役員会を開き日程、コースなどを協議した結果十一月二十四日と決定したが、都合で二十三日に繰上げた。来月はじめごろまでには大会要綱などをプリントして関係方面に送付するが、第三回からは石城地方市町村が共同で行う第八回産業文化祭の協賛して参加することになったので、いままでにない盛会が期待されている。現在まで出場を予定されているチームは高校の部平工、平商、磐高、内高、小名浜水産高、小名浜高、四倉高A、B、磐農A、B、湯本高、一般は常磐炭砿、習技生、国鉄、平商OB、オール好間、磐高OBなどだが、大会当日までにはさらに五、六チームの参加が見込まれている。

委員長に強口市議
市街整備特別委員会

平駅前鉄道官舎移転を促進する市街整備特別委員会第一会委員会は二十三日午後一時から市役所委員会室で開き委員長に強口唯七郎氏副委員長に鈴木寅次郎氏を選出、次いで運動方針などについて協議したが、まず敷地調査を行ってから具体的計画を樹てることになったため近く再び委員会を招集する

各館長決る
四倉の文化祭

第三回四倉町産業文化祭は十二月十四、五日開かれるがその打合せ会は二十三日四倉町公民館に関係者らが集って開き、水産館、農林館などの各館長を決定した。なお第二回打合せ会は三十日行う。館長は次の通り。

▽農林館（高坂良行）▽水産館（長谷川慎二郎）▽商工館（長瀬武重）▽工業館（阿部藤吉）▽厚生館（根本吾郎）▽文化館（箕谷伸太郎）▽民芸館（豊田美考）▽公民館（松崎嘉雄）

近く着工の運び
御厩小の第二期工事

内郷市御厩小学校（校長大越卓氏生徒数五百二十四名）の移転新築問題は部落民の反対で騒いだがその後円満に解決、今春二階建六教室が建築されたが、近く第二期工事として予算千三百三十九万円で二階建四百十八坪の校舎が建築されることになり、近く入札を行う請負者決定次第直ちに着工され、来年二月末には完成予定だが今度建てられる校舎は普通教室十、衛生、放送、校長、職員室などの管理室六つ建てられる。

すでに敷地は昨年暮から一般失対事業で水田を埋立てており、広さは約三千坪になるが、新校舎は現校舎の東側に建てられる現在は完成した六教室と約一キロ離れた旧校舎の両方で授業を続けているが、学校当局も生徒達も早く一カ所の新校舎落成を待っている。なお旧校舎は十教室あるが、この旧校舎は移転後部落民が中学校を建ててほしいと願っているが、一方平市方部から同校舎に私立高校を開設したいとの話も出ている。

機関車試乗
事故防止に

水鉄管理局では十六日から三十一日まで行われている踏切り事故防止対策事業の一つとして二十二日平署、常磐交通など交通関係者を招えて日立、平間機関車試乗会を開いた、この日日立発十時八分の常磐線下り四二七列車に乗り日立平間六十二・五キロの区間で試乗会に参加したのは沿線各警察署長交通安全協会、交通事業関係者など二十四名、炭車に天幕をはってうしろから機関車の内部をのぞき込み、生田目平機関区長、田島同助役の説明を聞きながら機関士鈴木富弥さん同助士坂本直光さんの作業振りを熱心に見学した。

平駅着後は平安クラブで水鉄局下沢列車課長を中心に座談会を開き感想や意見を述べあった。席上交換された主な発言は①前方注視のさい機関士は左側しか見えないから右にカーブする場所では完全注視ができない②助士が一人で一秒も休みなく立ち続けで働いているが、増員して二人にできないか③複線の場合踏切り警報器に上り、下りを区別して知らせる装置がほしい④農道などの踏切りも最近大型車の往来が多くなっているので警報器をつけたり路面のけをもっとひろげエンストなどおこさないようにしてほしい⑤機関車乗務員は緊張の連続でとくに踏切りの場合時速六十キロで急ブレーキをかけても三百五十メートル突走ってしまうので自動車業者は一たん停止を励行すべきだなどで同一時半散会したなお試乗区間は踏切が計百三カ所、トンネル十一カ所、延三キロ、十一駅を平均六十二・五キロの速度で走った。

平鉄工業協
新役員決る

平市工業協同組合ではこのほど臨時総会を開き役員改選を行い理事長に佐藤源吉氏を選んだ。なお常務理事は未定になっている。役員は次の通り。

▽理事長佐藤源吉▽理事鈴木衛、鈴木甚造、関口嶷久、吉野浩平、河田昇、茂木茂、乳井文治、遠山勇▽監事根守亮輔、木田四郎

病院給食指導者講習会

平地区病院給食指導者研究会は二十五日平保健所で管内三十施設の栄養士、給食指導者が集って開き保健所事務連絡、不足栄養量の強化などについて協議する。

四倉にサンマ二万貫

四倉港所属サンマ船第一源盛丸、第二源盛丸、第三福寿丸、太平丸、吉成丸、やよい丸、源正丸はきょう朝四倉港にサンマ二万五千貫を水揚げした。これは塩屋崎北東北三五・六マイルの漁場で漁獲したので貫あたり八十二円から七十五円でとぶように売れハマは活気づいている。

使命達成に全力
古山選手ら母校訪問

一九五七年度世界重量挙選手権大会は十一月八日から十二日までイランの主都テヘランで世界各国の強豪が参加して開かれるが、日本選手六名のうち本県から世界の檜舞台に駒を進めるバンタム級青柳清(二〇)フエザー級古山征男(一九)ミドル級原豊雄(三二)ヘビー・ライト級渡辺昌幸(三三)の四選手がきょう二十四日来平、市内各関係筋への挨拶廻りを行った。

一行は二十六日午後六時からイラン大使館の招待パーテーに臨み、福島県代表として国体に出場、三十一日午前九時四十五分羽田空港からエア・フランス機で壮途につくことになったが、四選手は「日本代表としてスポーツマンシップを発揮、使命を尽したい」と力強く語った。

各選手の記録をみると青柳選手はプレス八二・五キロ、スナッチ九十二・五キロ、ジャーク一二〇キロ、総合で二百九十五キロ、古山選手はプレス一〇七・五キロ、スナッチ一〇〇キロ、ジャーク一三二・五キロ、総合で三四〇キロ、原選手はプレス一〇〇キロ、スナッチ一〇七・五キロ、ジャーク一三三・五キロ、総合三四〇キロ、渡辺選手はプレス一〇五キロ、スナッチ一二〇キロ、ジャーク一五二・五キロ、総合三七七・五キロという世界水準に達する記録を出しているので、その上位入賞が期待されている。

青柳選手談「練習の時痛めた手首がまだ全治していないので自分としても心配しているが、大会までには全治したいと思っている。身体の調子も良いので全力を尽すつもりです」

古山選手談「国際試合には馴れているので心配はない。最近記録がどんどん上昇しているので、このままのコンディションをもって大会に臨みたい」

原選手談「最近になって調子をとりもどしてきた。このほど行われた記録会では自己の記録も更新しているのでこの調子で行けばまだまだ記録が出ると思う」

渡辺選手談「国際試合には初めての出場です。中共遠征から帰国してからスランプになったが、最近調子をとりもどした。世界には強豪選手が多勢いるが、ベストを尽して期待にそいたい」

包丁で夫の顔滅多切り
磐城の人妻兇行後自殺はかる

二十二日夜、夫婦喧嘩の揚句夫の鼻を切り落し顔面などを滅多切り、自分は毒物をのんで自殺をはかるという事件が小名浜に発生した。二十二日夜磐城市昼野字大作二助産婦渡辺地区婦人会長大友セン(五三)は八時ごろ自宅で夫の操さん(五二)と痴話喧嘩の末センはかっとなって台所から刺身包丁を持ち出し操さんの鼻を切り落したほか顔面、頭部など数カ所に傷を負わせた。尚センは兇行ご塩酸と見られる毒物を飲み自殺をはかったが死に切れず現在同市黒沢医院に入院加療中だがこんすい状態を続けている。また操さんは同市泉、泉医院に入院手当を受けているが重傷である。なお磐城署では二十三日犯行を探知、調べを進めているが、両人とも重態のため身柄不拘束である。

新しい盆踊
26日常磐市で

常磐市湯本公民館では新しい盆踊りとしてじゃんがら盆踊りをつくり、市内の婦人会、青年会、一般市民ら七十余名がすでに猛練習をしているが、いよいよ二十六日夕方から同市表町通りで賑かな発表会を行う。

下車の際スられる

好間村大利字成洋潜函夫猪木松雄さん(三一)は二十三日午後九時十分ごろ下り四三一列車デツキで平駅下車のさいズボンのポケットから千七百円をスラレたと平鉄道公安室に届出た。

カバン盗まる

磐城市泉滝尻農協事務員佐川儀八さん(五三)は二十三日午前十時ごろ山形県米沢市小野川温泉亀屋旅館で前夜から泊っていた新潟県岩船郡関川村無職及川信勝(四七)に手さげカバン（現金五千二百円在中）を盗まれたと米沢署に届出た。

銘菓 平凡

父愛三（七十七歳）病気療養中のところ去る十月二十三日午後十時三十分死去いたしました 茲に生前の御交誼を深謝し御通知申上げます
追って葬儀は来る十月二十六日十二時より自宅に於て告別式を行い午後一時出棺性源寺に埋葬いたします
昭和三十二年十月二十四日
平市四丁目（マツモトヤ）
喪主 松本芳雄
松本良治
外親戚一同

クリーニング
洗張・防水
小松崎
平館前 電1343

尾かしら付七品立派ですよ
そのお膳一人前三百円ナリ！板前は腕ッこき、材料は藤越の特選品、なんせみんな卸値で入るものですから特別にお安くできるのです。出張もドシく
○お膳一人前 三〇〇円より
○菊半かん 一本 一四〇円
○寿鉄扇 一ケ 二五円
金曜特売細切こんぶ百匁二八円
藤越 小名浜 平市

秋 紅葉狩には
マルサの折詰
洋食を！
一〇〇円より御相談に応じます
神戸牛の店 マルサ
平市銀座通り 電二七一

厚生医療指定病院
労災保険指定病院
肢体不自由者相談所
財団法人 竹林病院
外科 整形外科
内科 小児科呼吸器科
皮膚科 泌尿器科
理学診療科 レントゲン科
院長 竹林貞吉
本院 平市十五丁目十三番地 電話六〇八・八一一番
分病棟 平市小太郎町十三番地 電話一二七四番

限りなく広告を愛しスポンサーを愛する
常磐スライド広告社
平市大町（東北電力横）電四八六

看護婦 家政婦 の御用命は…電三〇七番へ
労働大臣認可 平看護婦家政婦斡旋所
常派出多忙＝看護婦・家政婦＝募集

特殊ベニヤ
ホモトックス
吸音テックス
ビルヂングボード
東京ボード
張天井板
営業開始
一般材・製材
銘木・建材
色川材木店
平市才槌小路一 電341

四年後32%増收

湿田單作四カ年計画

平市では三十二年度から総予算二億三千四百八十万円で湿田単作地区農業改良四カ年計画をたて、このほど農林省、県当局に対して国庫補助、県補助の申請をした。計画によると単位面積の生産向上と湿田の乾田化によって平市の年間農業生産額十三億九千三百七十六万円を四年後には三二・五%増しの十八億四千六百二十四万円に生産の収入を図ろうとするもので、早期着手が望まれている

平市の農耕地をみると明治末期の耕地整理のままであるため、用排水路は上流の幅が下流より広い所もあり湿田、半湿田、排水不良の土地が千五九十二町歩、未整理地は四百八十町歩に及んでいる。それに対して降雨の際には冠水、潮害などを蒙るほか、耕地の散在、区画整理の未施行、農道の不備、かん排水施設の不完備などが農業経営の改善などに大きな支障を期している計画内容次の通り。

◇かん排水事業＝溜池十八カ所千八百万円、頭首工十五カ所、千二百万円、用排水路二十キロ四千万円で計七千万円

◇耕地整備＝区画整理四百五十町歩、五千八百万円、客土二百町歩、二千四百万円、農道延二十キロ、千六百万円で計九千八百万円

◇小団開発整備＝農道十団五キロ千二百万円、客土百町歩、千二百万円、溜池十六カ所、四百八十万円、頭首工四十五カ所、千三百五十万円、用排水路六キロ、千二百万円で計五千四百三十万円

◇搬出調整備＝林道十二キロ、千二百万円、総計二億三千四百八十万円

現代箏曲リサイタル

むらさき会、平市教育委員会主催の玉葉派主宰坂本勉作品現代箏曲リサイタルは十一月九日午後六時から平市公会堂本館で開かれるが当日は坂本勉氏、平市民オーケストラ、平一小児童が賛助出演するなお九日には磐女で現代箏曲鑑賞の会、十五日午後二時二十分から三時までNHKで放送される。

（商）（工）（ニ）（ュ）（ー）（ス）

映写技術者見習を募る

平市ひかり座では映写技術者見習を募集中卒以上年令二十才前後旧市内在住者履歴書持参なお十月二十八日（月）午後一時から三時まで当館事務所まで来所の事。

笠間の菊人形団体募る

平市常磐交通観光社では来る十一月三日、十日、十七日、二十四日四回に亘り茨城県の笠間菊人形への愉快なロマンスカーの旅を募集している会費入場料含一人様六五〇円となっている。尚一泊上の山温泉泊及菊人形見学は十一月九日平駅前五時発御一人様二五〇〇（一切含）申込は常磐交通観光社各営業所となっている。

マルサの折詰めを

平市銀座通りマルサでは紅葉狩の折詰洋食を百円より予約承っている。

市原の煉炭

平市一丁目市原商店では十月十日より十二月二十日まで栃木三鱗のミツワロコ煉炭と火鉢の組合売の大特売中。尚D・S式石油燃焼器、石油風呂沸器も大好評を博している。

割烹 湖月 平電一〇七三

13名死亡と断定

八崎丸、捜査は續ける

あっという間に火の海と化し船体が真二つに折れて沈没した磐城市滝内敏一氏所有八崎丸（四八トン）の行方不明乗組員十三名の捜索は塩釜海上保安部の巡視船〃ちどり〃〃みやけ〃が二十二日一ぱい続けたが発見されず、行方不明者は死亡と断定、捜査を打切り、こんごは巡視警戒をかけて行方不明者の発見に当ることになった、また小名浜救難所ではこれと別に漁船捜索船団をつくり二十三日から捜査に当っている、

なおこの事故について小名浜海上保安部では結論を出していないが二十三日から生存者から原因を調査している、また船長の無資格問題については塩釜海保で船主滝内敏一氏と船長兼漁労長高橋春雄氏の任意出頭を求め船舶職員法、船員法違反、船舶失火致死容疑で取調べた。

八崎丸乗組員十三名の行方は二十二日夜になっても発見されず生存は不可能視された。このため塩釜海保では捜査を一応打切り、二十三日から本格的な取調べをはじめた。仙台地検の指揮をうけた小名浜海保では二十三日朝から乗組員の取調べをはじめ、事故発生当時の状況を中心に出火責任者、出火原因などについてくわしく聞いている。小名浜海保の調べによると八崎丸の船長として乗込んだ漁労長高橋さんは船長の資格がない。船主の滝内さんは資格をもっているが病気を理由に同船が気仙沼を出港の際下船、船長を雇わず資格のない高橋漁労長が船長を兼務して出港した。この点は船舶職員法、船員法に触れることが明かとなったので書類送検されたが、失火容疑については当時船橋で見張っていた生存者小林弘道、阿部清作さんから事情を聴取したので、これらの調書を検討して態度と決定する。

なお漁船は漁獲重点主義から漁労長が実権をにぎっているのが大半で、このため若い船長とトラブルを起すこともあり、この風潮が船長なしで出港した遠因とも見られている。

中學校は一校增

常磐　学級編成調査から

常磐市教育委員会では小、中学校の学級編成の今後に於ける対策をこうずるため、小学校六校の三十七年度まで、中学校三校の四十三年度までにわたり、児童数の調査をしていたがこのほどまとまった

小学校は現在総児童数は六千九百二十八名、百三十九学級が三十四年度には七千七百五十四名百五十四学級となって九百二十六名、十五学級の増加となるがこれは一学級六十名収容の措置をとってのこと。三十五年度には七千四百七十二名、百四十八学級、三十六年度には七千百九十五名、百四十四学級、三十七年度には六千五百七十名、百三十一学級となり、本年度より三百五十八名、八学級減る。これは三十年、三十一年の出生が減じているため。

中学校をみると三十二年度二千八百三十一名、五十七学級で三十七年度には四千百七十名、八十六学級になり三十二年度より一千三百三十九名、二十九学級増加する。三十八年度四千八十九名、八十四学級、三十九年度四千十二名、八十二学級と下降線をたどって四十三年度には二千八百八十八名、五十七学級となる。この調査にもとずくと小学校は増築、中学校は三十六年度あたりで一校必要である。

騒乱罪強く主張か

平事件　あす論告公判開く

平事件控訴審は昨年十二月の初公判以来十カ月にわたり現場検証、証人尋問などが行われてきたが九月末一切の事実審理を終了、二十五、二十六の両日仙台高裁旧陪審法廷で籠倉裁判長係で論告公判が行われる公判第一日の二十五日は午前十時開廷、二審で行った十カ所十五名の現場検証、証人尋問の結果を証拠として採用、さらに第一審の統一、分離両組の書証を分離、統一組双方に適用することを決定したのち「騒乱罪を認めなかった一審判決は破棄すべきだ」と検察側の論告が開始される。

同論告では沢田、菅原、山浦三検事がそれぞれ騒乱の動機原因から共同意思について「事実審理の結果一審判決にはさらに事実誤認の疑いが深まった」と騒乱罪の成立を強く主張する予定である。とくに一審判決で①事前の共同謀議の存在は認めぬ②事件は偶発的なもので騒乱を起す共同意思はなかった。事件によって平市周辺の静穏は害されてはいなかったと否定された主張については一審の主張をさらに補強して反論するものとみられる。

映寫技術者見習募集

☆中卒以上　☆二十才前後

☆旧市内在住者　☆履歴書持参

十月二十八日（月）午後一時から三時まで当館事務所まで御来所下さい

ひかり座　TEL1338

皆様……おなじみの

定食（盛沢山）50円

カキフライ（ライス付）60円

カツライス（汁付）100円

シューマイライス（汁付）80円

☆季節の味覚☆

松茸土びんむし 60円

〃 茶わんむし 70円

……出前迅速……

夜間営業いたしております

さかえ　平市駅前　電988

今晩のラジオ

◆NHK（第一）

六・〇〇 子供の時間
六・二五 スポーツだより
六・三〇 一丁目一番地
七・〇五 川柳コント
七・一五 録音ニュース
七・三〇 即興劇場
八・〇〇 民謡をどうぞ
八・三〇 天晴れ風来坊
九・〇五 ニュース解説
九・一五 赤い夕陽
九・四〇 話の泉
一〇・一五 時の動き
一〇・二五 邦楽
一一・一〇 夜のしらべ
一一・三〇 世界をつなぐ
一一・四〇 夢のハーモニー

◆ラジオ福島

六・〇五 トニーの童話
六・一五 赤胴鈴之助
六・四〇 スーパー千一夜
六・五〇 音楽の小箱
七・一〇 録音ニュース
七・三五 日立劇場
八・〇〇 めぐり逢うとき
八・三〇 安川お好演芸会
九・〇〇 平凡アワー
九・三〇 甚兵衛アワー
一〇・〇五 名作アルバム
一〇・三五 江戸三国志
一一・一五 今日のスポーツから
一一・〇五 時事解説

今晩の映画

▼世界館　二十九日迄　電[illegible]
六・五六 赤胴鈴之助（新月塔の妖鬼）
八・三三 鳴門秘帖

▼東映劇場　二十九日迄　電[illegible]
七・三三 力道山対ルー・テーズ
七・四五 純愛物語

▼民劇　二十九日迄　電[illegible]
六・三〇 その夜のひめごと
八・三三 肌色の月

▼ひかり座　二十八日迄　電[illegible]
六・四〇 不滅の守備隊
八・四五 西部の三人兄弟

▼聚楽館　二十八日迄　電[illegible]
六・三〇 アリスのような町
八・三〇 抵抗

▼平館　二十九日迄　電[illegible]
六・三五 活弁物語
八・一五 青い花の流れ

ナイトショウ

▼世界館　二十六日まで
一〇・三〇 社長三等兵

▼東映劇場　二十五日まで
一〇・一〇 肉体の密輸

ラジオ月賦　三幸電気部　平三電506

みんなそろって健康診断

10月25日➡10月31日　結核予防週間

おクスリの御用命は　株式会社神谷薬局　平市田町　電三一三　小売店　並木通り　電二二九八

厚生医療指定病院　肢体不自由者相談所　財団法人竹林病院　院長 竹林貞吉　本院 平市十五丁目 電六〇八・八二　分病棟 平市小太郎町 電一二七四

平医師会　会長 鈴木正男

内科 小児科 呼吸器科　後藤医院　平市古鍛冶町（県社下）電一〇三六

結核予防指定病院　財団法人石城精神医学研究所　附属新田目病院　平市才槌小路　電一五・二三五六

内科 小児科　高久医院　高久孝　平市田町　電五一三